

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	舞踊	種目	バレエ
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレイアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきざいだんほうじんすたーだんさーず・ばれえだん		
	制作団体名	公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団		
	代表者職・氏名	理事長 細田安兵衛		団体ウェブサイトURL
				https://www.sdballet.com/
	制作団体所在地	〒 107-0062	最寄駅(バス停)	東京メトロ銀座線外苑前駅
		東京都港区南青山2-22-4		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	昭和56年 3 月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		理事長 細田安兵衛 常務理事 小山久美 その他理事3名 監事1名 評議員6名 事務職員4名(常勤)	団員 約50名 団員加入条件:総監督、ミストレスらの審査による。	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	小山久美 平野綾那
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	須藤陽子
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		kumi oyama@sdballet.com		0334012293

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1965年、太刀川瑠璃子により創立。当時のスターダンサーを集めた公演をプロデュースしたことがきっかけで誕生したことから命名された。1981年、渡邊暁雄を理事長に迎え、日本のバレエ団として初の財団化を果たす。1996年には英国よりサー・ピーター・ライトを芸術顧問に迎えた。</p> <p>古典から現代バレエまで日本初演を含む世界的名作の数々を上演する一方、日本人振付家による新しい作品も発表し続け、豊富なレパートリーを誇るとともに日本バレエ界発展の一翼を担っている。国内公演のほかドイツ、中国、韓国などでの海外公演の実績も多く、2019年にはバリのJapan Expoにおいてバレエ「ドラゴンクエスト」を上演し好評を博した。</p> <p>日本各地の学校を巡回する文化庁委託公演及びワークショップの他、障がいのある方が気軽に鑑賞できるリラクsspパフォーマンスや、パーキンソン病患者のためのダンスプログラムに取り組むなど、社会と広くかかわる活動も幅広く行っている。</p> <p>【受賞歴】 1977年 第5回ニムラ舞踊賞（「緑のテーブル」上演意義とその成果に対して） 1989年 第20回舞踊批評家協会賞 1992年 第23回舞踊批評家協会賞 1992年 村松賞（小山久美） 2023年 舞踊批評家協会賞新人賞（渡辺恭子） 2024年 芸術選奨文部科学大臣賞（鈴木稔）</p>	
	学校等における公演実績	<p>学校公演実績 累計約200公演</p> <p>2005（平成17年）より、東京都「子どもたちと芸術家の出あう街」のアウトリーチ活動として都内の小学校等でワークショップや小規模公演を実施。（～2014年）</p> <p>2014（平成26年）度～ 小田原市内小学校にて公演及びワークショップを継続実施。 「バレエの世界へようこそ：チャイコフスキーの3大バレエ」</p> <p>他、平成27年度～継続 特定非営利活動法人子ども劇場東京都協議会が実施する「文化芸術による子供の育成事業（芸術家の派遣事業）」において小学校でのワークショップを行っている。</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>・2010（平成22）年度に本事業にて特別支援学校での公演及びワークショップに取り組んだことをきっかけに、特別支援学校用のプログラムを構成し、これまでに約30校を訪問している。</p> <p>・2016（平成28）年、特別支援学校教員や理学療法士の協力のもと障がいのある子どもたちを対象とするダンスプログラムを開催。翌年も継続開催（川崎市「パラアート推進公募型事業」）</p> <p>・2018（平成30）年には、障害のある方も劇場で芸術鑑賞を楽しめる公演リラクsspパフォーマンスの取り組みを開始。これまでに全国8県にて15回開催。</p> <p>・特別支援学校へプログラムを提供するにあたっては、英バーミンガム・ロイヤル・バレエ団による学習障害者によるダンスカンパニー「フリーフォール」、米ボストン・バレエによる障害者を対象としたダンスプログラム「アダプティブ・ダンス」、米マーク・モリス・ダンス・カンパニーによるパーキンソン病患者のためのダンスプログラム「Dance for PD」等での視察・研修を経て、日本の特別支援学校に合わせたプログラムを構成している。</p>	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	「シンデレラ」ダイジェスト映像 https://www.youtube.com/watch?v=BDYqLRhC8JA&t=15s	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添 あり

【公演団体名 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団 】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名 ようこそバレエの世界へ「シンデレラ」

企画のねらい 誰もが一度は触れたことのある物語「シンデレラ」のバレエを通して、バレエによる表現方法を身近なコミュニケーションと比較しながら体験することで、敷居が高いとされるバレエを親しみやすいものとして捉えるきっかけとなるようなプログラムを企画しました。言葉を使わずに身体で表現するバレエは、論理的に理解することが求められる授業科目とは違い、頭で理解するのではなく心で感じる経験を自然に生み出すことができます。子どもたちの想像力を刺激し、また言葉だけに頼らないコミュニケーションの幅と可能性に触れる機会となることを狙います。

演目概要・演目選択理由

体育館の舞台を前方に張り出して上げ、劇場のように照明機材を設置し、本格的な舞台空間のなかでバレエをお楽しみいただきます。舞台を拡張することで、フロアに座る全ての児童・生徒たちにとって鑑賞しやすい環境を作ります。

***「静かに鑑賞できるか」などのご心配は不要です。また学校側に準備などお願いすることはありませんのでご安心ください。**

第1部 バレエってなんだろう？

バレエの歴史や成り立ち、表現方法について実演を織り交ぜながらわかりやすく説明します。バレエに登場する手話のような手の動き“マイム”を紹介し、続く第2部の作品が細部までよく理解できるよう導きます。児童・生徒による体験コーナーも設け、バレエに親しみを感じてもらうことを目指します。

第2部 舞台をみてみよう「シンデレラ」

子どもにも親しみやすい演目として「シンデレラ」を上演します。美しいプロkofieフの音楽や見どころはそのままに、ダイジェスト版として**約45分**にまとめました。途中にはあらずし解説も組み込まれるので、どなたでも安心してお楽しみいただけます。意地悪なお姉さんたちの愉快なシーンや、涙がほろっとするような心に響くラストシーンなど、起伏に富んだ演出で児童・生徒を飽きさせることなく、常に大きな満足感を与えています。

【演目選択理由】

●1部、2部を通して、「人と人が心を通い合わせることの素晴らしさ」をテーマに演目を選択しました。言葉に頼らない表現形態であるバレエならではの、頭で理解するのではなく心で感じる体験を通して、豊かな心を育む一助となることを願っています。

●「シンデレラ」は、そのストーリーに誰もが一度は触れたことがあり、非常にわかりやすい演目です。バレエに馴染みのない人でも無理なく楽しんでいただけたらと考え選択しました。また、「シンデレラ」の物語には、喜びや悲しみ等の様々な感情が含まれます。身体の動きと表現を通して喜怒哀楽を心で感じることで、子どもたちの想像力を刺激し、伸ばすために最適な演目と考えます。

【小学生との共演】

「シンデレラ」の一場面で、十数名の児童がダンサーたちと一緒に舞台上に上がり、演技に参加します。12時の鐘とともに魔法がとけて逃げ出したシンデレラを、王子が残された靴を片手に探すシーンで、王子が児童の皆さんにもシンデレラの行方を聞いて回る、という設定です。事前のワークショップではこのシーンに取り組み、それぞれの個性や能力が発揮できるよう振付家が指導します。児童の皆さんが身体表現を体験し、ダンサーたちと共演して学校オリジナルの『シンデレラ』を創り上げたいと考えています。また、ワークショップで学んだ踊りを舞台上で選抜メンバーが発表する機会もあります。

【中学生との共演】

公演の一部として、生徒たちによるダンスを舞台で発表していただきます。事前のワークショップにおいてダンスの基礎を学びながらひとつの踊りとして完成させ、それをバレエ団とともに観客の前で上演します。ダンスの特性やリズムの特徴をとらえ、スペースの使い方など互いに気を配りながら、皆で踊る楽しさを味わってもらよう導いていきます。

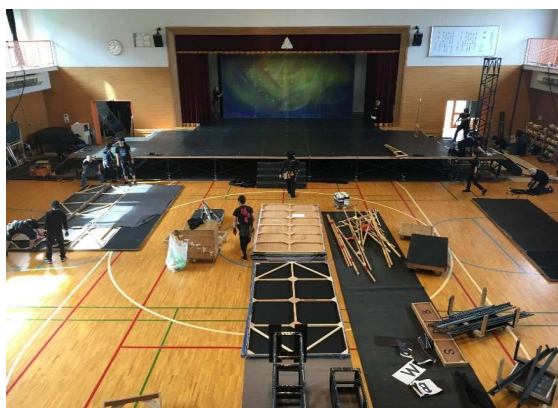
【その他の参加・体験】

バレエの動きを紹介する公演の第1部では、数名の児童・生徒による体験コーナーを設けています。小学生・・・男性に高く持ち上げられる“リフト”に挑戦！
中学生・・・男性が女性をエスコートして支える“パートナリング”に挑戦！



本公演・ワークショップの内容

児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人数目安		20～40名程度(舞台への出演者)	
			鑑賞人数目安		上限なし(収容できる範囲)	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	第1部 バレエってなんだろう？ 構成・演出 小山久美 第2部 舞台をみてみよう 「シンデレラ」 原作:シャルル・ペロー 作曲:セルゲイ・プロコフィエフ 演出・振付:鈴木稔					
	公演時間	80-100	分			
出演者	スターダンサーズ・バレエ団 団員(別添参照)					
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	■「シンデレラ」演出/振付 鈴木稔 1983年に渡米し、ニューヨークのチェンバー・バレエ団、コロラド・バレエで公演に参加。1993年スターダンサーズ・バレエ団バレエ・マスターに就任する。現在、同バレエ団常任振付家として、多くの作品の演出・振付を手がけている。これまでに日本バレエ協会振付奨励賞、音楽舞踊新聞村松賞、芸術選奨文部大臣新人賞、橘秋子賞特別賞を受賞。令和5年度(第74回)芸術選奨において文部科学大臣賞を受賞した。					
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 30 名 スタッフ: 24 名 合 計: 54 名		運搬		積載量: 4 t 車 長: 10 m 台 数: 2 台	
本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込		有		前日仕込所要時間	
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00～12:30	13:30～15:00	10分	15:30～17:00	17:30
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。					
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月	
	14日		0日		0日	
	10月		11月		12月	
	11日		9日		9日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計		62日	



←仕込みの様子

体育館のステージを前方に拡張します



バレエの歴史・成り立ちや
手の動き(マイム)などを
わかりやすく紹介します

第1部 バレエってなんだろう？



WS参加児童生徒によるステップの披露も

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出
がわかる写真)

※会場条件につ
いて最低限必要
な条件がある場
合には、様式
No.4内「会場簡
易図面」を記載し
てください。

第2部 舞台をみてみよう「シンデレラ」



ガラスの靴の持ち主を
探す場面では
ダンサーが目の前に！



共演者たちは衣装を着て出演！
(小学生のみ)

著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名		許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団】

ワークショップのねらい

子どもたちの「感じる力」「表現する力」を引き出す

目的は「バレエを踊れるようになること」ではなく、本来子どもたちに備わっている想像力や表現したい気持ちを引き出すこと。バレエのエッセンスを活用して、児童・生徒の皆さんがのびのびと自由に表現できるように指導します。

「言葉で伝えること」と「身体の動きで伝えること」、その伝わり方の違いを感じることによって、コミュニケーション能力を刺激することを狙います。

児童・生徒の参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

約50名(100名程度でも実施可能です)

バレエの動きと表現を通して身体表現の面白さを感じるワークショップ。
「バレエって難しそう・・・」という心配は不要です！

【講師】 計6名(振付・演出家1名、指導助手5名)

【対象人数】 約50名

参加児童生徒全員にまんべんなく指導ができ確実な成果が期待できる人数として、約50名を目安として提案しています。対象の学年やクラスは、学校側の希望を第一優先に決定しています。50名以上での参加をご希望の場合は、可能な限り対応します。(100名超の実績もあり)

【時間】 約90分

授業2時限分の確保をお願いしています。

【ワークショップの流れ】

1. バレエの動きを理解する

まずは講師によるバレエの実演を見て、バレエの動きがどんなものなのかを理解します。
バレエの挨拶や基本のポジションなど、手足を用いた簡単なバレエの動きを一緒にやってみます。



ワークショップ実施形態及び内容

2. バレエの表現方法を学ぶ

「①セリフによる芝居」、「②身振り手振りによるジェスチャー」、「③バレエとしての踊り」という3パターンでの講師の実演を通して、言葉のないバレエの表現方法を理解します。
本ワークショップでは、②と③の間「2.5」に到達することを目指します。

<div data-bbox="135 136 180 181" data-label="Page-Header"> <p>容</p> </div>	<p>3. バレエのステップ「ワルツ」に挑戦 「ワルツ」は、本公演で鑑賞する『シンデレラ』において多く登場するステップ。『シンデレラ』の音楽に合わせてワルツを踊ってみます。 参加人数に応じてグループ分けして取り組み、講師の目が全員に届くように配慮します。 目標の「2.5」に近づく達成感を味わえるように導きます。</p> <p>4. 公演に出演する児童生徒の選抜 参加した児童生徒の中から、「ワルツの披露」「シンデレラでの共演」という2つの形で公演に参加してくれるメンバーを選抜します。(中学校では「ワルツの披露」のみ) 選ばれた児童生徒は、本公演当日に20分ほどリハーサルの時間を設けさせていただいています。</p> <div data-bbox="501 557 933 840" data-label="Image"> </div>
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現方法を理解することに主眼を置いたワークショップを通して、その後の公演鑑賞をより一層楽しめるような効果を狙っています。 ・講師は基本的に男性4名、女性2名で構成しています。「バレエ」というと女性らしいイメージがつきまといいますが、講師の過半数を男性とすることで、男子児童生徒の積極的な参加を促す効果があると感じています。 ・本公演に出演する児童・生徒は、大きな舞台で自分を表現する体験が自信や挑戦する気持ちを引き出す機会になればと願っています。また出演しない児童・生徒も、人の表現を受け止めることで、お互いに伝え合う喜びを共有してもらいたいと思っています。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。
・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。									
会場の設置階の制限		2F以上応相談		主幹引き込み電源容量			条件なし	A以上		
舞台設置面積		間口	条件なし	m	奥行	5.45	m			
		高さ	条件なし	m						
舞台設置場所		フロア対応	可		学校のステージでの対応			条件が合えば可		
搬入間口の広さ		幅	1.8 m		高さ	1.8		m		
遮光の要否		5割程度必要		緞帳の要否			あれば使用する可能性がある			
ピアノの使用について		使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定						
				ピアノを使用しない場合の移動の要否			不要			
搬入車両(トラック等)の横づけ		応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			10 m以内			
搬入車両の種類		中型トラック		台数	2 台					
搬入車両の大きさ		車幅	2.5 m		車長	10 m				
備考		そのほか電源車の駐車あり								

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	不要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	図面は不要ですが、体育館全体の大まかな寸法(縦横)がわかると有難いです。	

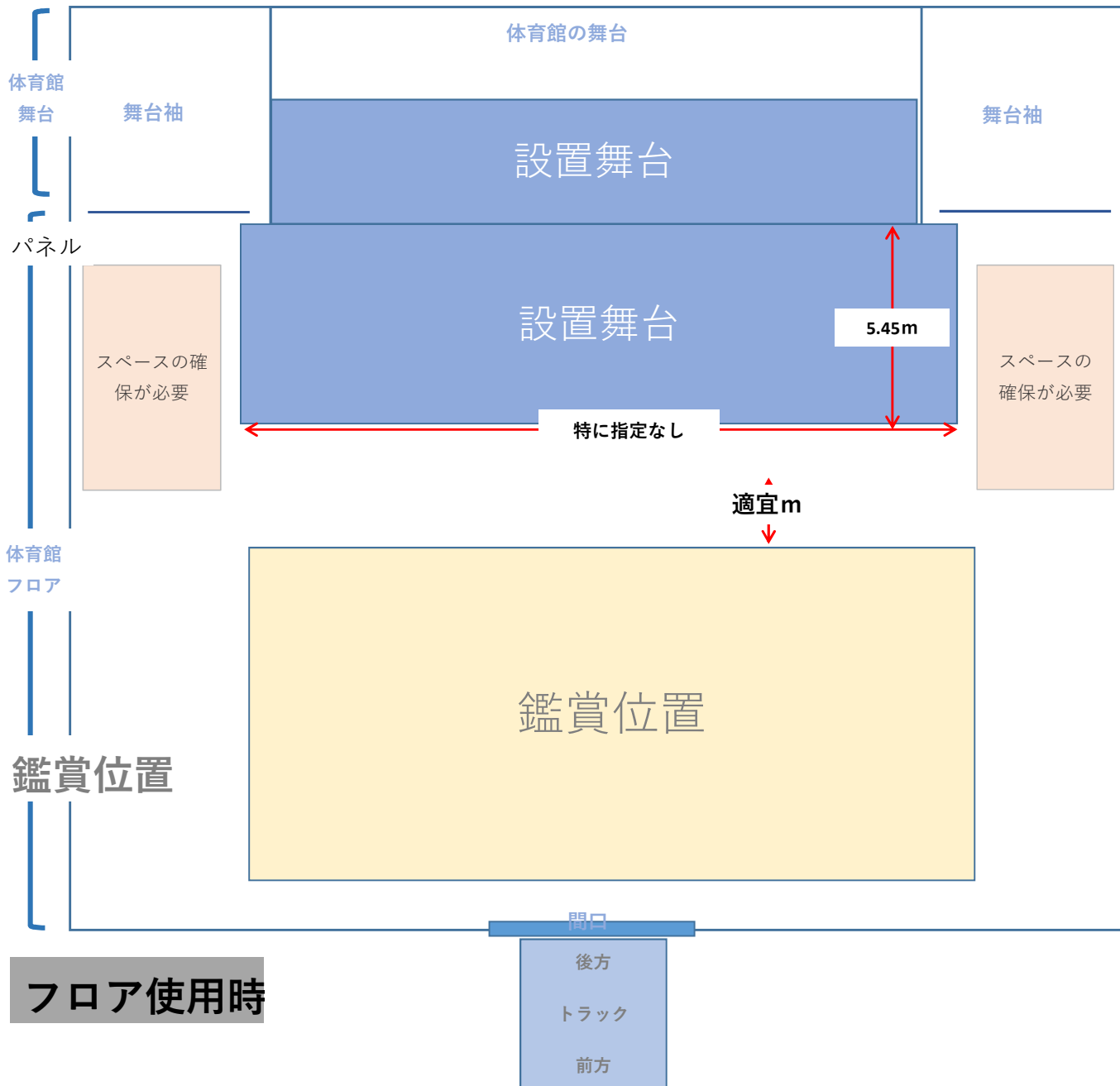
時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
ワークショップ						
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	20-30分	主に給食昼休み前後	実際の舞台を使った舞台稽古		
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

(任意) 会場条件について最低限必由条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



一般区分・特別エリア区分共通

No.5(共通)

別添

なし

【公演団体名 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団】

本事業への応募理由等	本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	【本事業を通じて実現したいこと】
		<p>・「理解の度合い」とは異なる目盛りで豊かな感性を 美しいものを美しいと感じる心、芸術という抽象的な言葉を自分なりに体感することなど、理解を求める学校の勉強とは違う体験を提供することで、子供たちの創造力・想像力を豊かにし、多様な考え方を受け入れ認め合う社会の形成への一助となればと思っています。</p> <p>・子どもたちの未来の引き出しを増やす 本事業は、無限の可能性を持つ子どもたちの興味や好奇心の扉をたたき、心の中の引き出しを増やしてあげることができる活動だと感じています。弊団のワークショップや公演が、憧れや夢、希望、なりたい自分など、それぞれに思い描くきっかけとなれば幸いです。</p>
		【上記の実現に向けて、実施の工夫】
		<p>・心を動かす舞台空間創り 体育館のステージを拡張し劇場のような舞台環境を創り出すことで、日常では味わうことのできない驚き、ワクワク感、高揚感を提供します。（そのため仕込は前日からさせていただいています。）</p> <p>・バレエに興味がなくとも「面白い！」と思えるものを 「わからない」ということがないよう、誰もが知っている「シンデレラ」を上演します。集中力を考慮して授業時間と同じ約40分の長さにまとめ、スピーディーな展開で飽きさせません。さらに、しつとりと美しい部分、笑い声が上がる愉快的な部分、感情の起伏がわかりやすいキャラクターなど、正直な子供たちが相手だからこそわかりやすく面白い内容にこだわって構成しています。</p> <p>・「気づき」のきっかけを作る ワークショップや共演において、子供たちには正解を求めません。失敗を恐れずにやってみる経験は、自分ならではの持ち味に気づくきっかけとなります。また、子供たちの日頃見られない一面や新しい可能性を発見する機会になります。</p>
事業を適切かつ円滑に実施するための工夫		【学校との連絡調整について】
		<p>学校側にとって、あまり馴染みがあるとは言えないバレエ公演の実施は、わかりにくい点が多いため、きめ細かく丁寧な事前の説明と対応を心掛けています。</p> <p>【連絡方法】 まずは電話でご挨拶と簡単なご説明をします。その後はご希望に応じた連絡手段で（メール、ファックス、電話など）行います。</p> <p>【資料を送付】 ワークショップの内容や公演準備について、写真とともに時系列に並べてわかりやすく説明した文書をお送りします。打合せが必要な事項についても文書で確認しながら進めます。不明点、わかりにくい点などはいつでもお電話等で口頭でもご説明し、先生方にとって不安がないように留意してご対応していきます。</p> <p>【学校の準備等】 基本的に学校側に物品や対応などのご準備をお願いすることはありません。同行する団体側のスタッフがすべて担っておりますので、先生方にご負担をかけることなく事業を遂行することができます。</p> <p>そのほか、特殊な事情が生じる場合も、柔軟に対応策を提案させていただきます。</p>

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

事前に必ず実施校の意向を確認します。
特に特別支援学校は、障がいの程度や配慮すべき点を細かく確認させていただき、ご要望に応じた内容にアレンジしてご提案させていただきます。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

当団では毎年公演活動を継続的に行っております。通常のパレエ公演、初めてのバレエ鑑賞に向けた公演、障害のある方もない方も一緒に楽しむリラックスパフォーマンスなど各地で上演しておりますので、興味がある児童・生徒たちの継続した学びとなるような機会の創出に努めていきます。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団】
出演者	<p>【解説】 小山久美</p> <p>【ダンサー】※内29名 愛澤佑樹 秋山和沙 阿部裕恵 石川聖人 石川龍之介 石山沙央理 伊藤璃空 井上興紀 岩崎醇花 岩本悠里 榎本文 小川紗季 小澤倅造 加地暢文 柏葉大歩 勝木萌香 角屋みづき 久野直哉 鴻巣明史 小杉瑠々 早乙女愛穂 塩谷綾菜 鈴木就子 関口啓 関口智則 高橋麗 高橋茉由 飛永嘉尉 富岡玲美 友杉洋之 中川郁 仲田直樹 西澤優希 馬場彩 林田翔平 東野瑞生 前田望友紀 牧村直紀 三澤由華 宮司知英 山内優奈 若宮嘉紀 渡辺大地</p>	